

著者略歴

村上一博（むらかみ かずひろ）

1956年 京都市に生まれる

1978年 同志社大学法学部法律学科卒業

1986年 神戸大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得

現在 明治大学法学部教授、博士（法学・神戸大学）

主要著作

『明治離婚裁判史論』法律文化社、1994年

『法史学への旅立ち』（共著）法律文化社、1998年

『ポワソナード民法典資料集成』（共編）雄松堂、2000年

『明治大正 町の法曹』（共著）法政大学出版局、2001年

『福澤諭吉の法思想』（共著）慶應義塾大学出版会、2002年

『日本近代婚姻法史論』法律文化社、2003年

『磯部四郎論文選集』信山社、2005年

『ジェンダーの比較法史学』（共著）大阪大学出版会、2006年

『磯部四郎研究』（共編）信山社、2007年

『日本近代法学の揺籃と明治法律学校』（編著）日本経済評論社、2007年

『岸本辰雄論文選集』日本経済評論社、2008年

『史料で読む日本法史』（共編）法律文化社、2009年

『布施辰治研究』（共編）日本経済評論社、2010年

『宮城浩蔵論文選集』明治大学出版会、2015年

『私学の誕生—明治大学の三人の創立者』（共著）三省堂、2015年

『新版 史料で読む日本法史』（共編）法律文化社、2016年

『山崎今朝弥—弁護士にして雑誌道楽』（共編）論創社、2018年

『戦前期アジア留学生と明治大学』（共著）東方書店、2019年

『権利自由の揺籃—明治法律学校の建学の精神』DTP 出版、2020年

ほか